

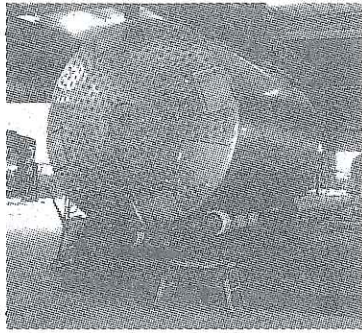
# 化学プラント向け圧力容器

## 日中タイで最適生産

### 国内メンテナンス需要に対応

#### コトブキテクレックス

化学プラント向け圧力容器メーカーのコトブキテクレックス(千葉県袖ヶ浦市)は日本、中国、タイの3カ国工場で最適な生産体制を構築し、安定的な事業基盤を築く。国内の化学プラント市場は、新設案件が少ない一方、設備更新やメンテナンス需要が旺盛で、国内メーカーはフル操業が続く。このため各国工場の連携を一段と緊密化することで、安定収益の確保を目指す。



中国工場で生産した日本向けタンク

コトブキテクレックスは、国内工場(袖ヶ浦工場)と中国工場(江蘇省)の3カ国で合計5工場を保有し、化学・食品プラント用タンク、熱交換器、圧力容器などを製造・販売している。主にニッケル合金製など高付加価値の圧力容器

1拠点の袖ヶ浦工場はフル操業が続く。15年度には工場内クリーンのリニューアルなど新規投資を実施し、顧客ニーズに添えている。

タイ工場は、タイ経済が不安定で、需要が低迷している。さらに東南アジア市場も弱含みであるため、主に日本市場向けにタンクを製造し出荷している。最近の円高傾向も海外品の輸入を増やす要因となっている。

今後、化学プラントの新設案件が増える可能性は低い。そのため、同社では国内のリニューアル市場を重視し、3カ国の工場を緊密に連携させ収益の安定化を図る。同時にインターネットを通じ、従来の日本とアジアの以外の新規ユーザーを獲得することで、事業基盤を強化する考え。

を日本で、汎用容器を海外工場生産している。年間売上高は約15億円で、2016年度は増収を狙う。

国内の化学プラント市場は新設案件が少ないものの、老朽化設備の更新をはじめ、メンテナンス需要が活発。とくに、圧力容器メーカーの製造現場では、ベテラン勢の定年退職などを背景に企業数が減る傾向にあるものの、同社への発注は増加している。このためマザ